



UAI
global
union

2023 ANNUAL REPORT

2023年 年次報告



クリスティ・ホフマンUNI書記長からのメッセージ



皆様、

昨年、UNIは組合を成長させ、団体交渉を拡大し、労働者の諸権利を向上させるため、グローバルで野心的なプログラムを実施しました。この成果と目標は、フィラデルフィアで開催された第6回UNI世界大会にも反映されました。

私たちの世界大会はあらゆる観点で成功しました。「労働者の暑い夏」と呼ばれる時期に109か国から米国に結集した1,200人の組合指導者は幸運でした。世界大会ではエネルギーと決意が熱く渦巻いておりました。

私たちは共に音楽を楽しみ、共にデモ行進を行い、現代の差し迫った問題に取り組むための戦略を共有し、構築しました。雇用保護の権利、創作の機会、そして生成AIの公正な使用を求めてストライキを行う脚本家や俳優たちに連帯を示しました。私たちは、インフレ率に見合う、あるいはそれを上回る賃上げについて交渉する組合を応援しました。こうした勝利は、奮闘する他の組合に希望を与えました。

私たちは、団体交渉を通じて女性の生活を改善し、商業やケア部門における労働者に対するカスタマー・ハラスメントを撲滅することを誓いました。また、新しい厳格な規則によって企業に責任を負わせること、そして気候変動の緊急事態に対処するための行動をとることを約束しました。

最も重要なことは、世界中に広がる革新的かつ包摂的な組織化キャンペーンを通じ、あらゆる部門の労働者のために力を構築する、私たちの膨大な取り組みを紹介したことです。

私たちは経験と連帯を共有し、互いに学び合い、自信と規模を拡大しました。職場における民主主義は、今日の世界におけるグロテスクな権力と富の不均衡を終わらせるための第一歩であり、これは強力な組合なしには実現しえないのです。

平和と民主主義に対するUNIの共通のコミットメントもフィラデルフィアで明確になりました。

私たちは、あらゆる場所で労働者の力を構築することを通じ、コミュニティにおける人権、平和、経済的正義を前進させるというコミットメントにおいて団結し、大会を後にしました。

連帯をこめて！



クリスティ ホフマン
UNI書記長

UNIは、あらゆる場所で労働者の生活を改善するため組合の力を結集しています。サービス労働者のためのグローバル・ユニオンとして、私たちは団体交渉の拡大、社会的・経済的正義の推進、企業の責任追及、不公正なグローバル経済の変革に向け、総力を挙げて取組んでいます。

10 の部会



50 の

グローバル枠組み協定



150 ケ国で

加盟組織が
数百万人の労働者のために
力を構築



ネパールの組合が画期的な無料医療保険を獲得

共に立ち上がろう： 数字で振り返る歴史的な2023年

50



50か国で、
キャンペーン、トレーニング、
プロジェクトを実施

7,100



7,100件のメディアで取り上げられ、
UNIの労働者パワーのメッセージが
世界中に広まった

70



70のプロジェクトで、
我々の運動の能力を構築

1,200



109か国から1,200人の労働組合活動家が、
第6回UNI世界大会に結集

144



144のUNIオルグが、
組織化センター、部会、地域を通じて
組合を強化

300



67兆米ドルの資産を保有する
300人の投資家への働きかけ

5,000+



5,000人以上の指導者・活動家が、
トレーニングを受け、その大半が女性





第6回UNI世界大会
2023年8月27～30日
米国・フィラデルフィア



公正な経済のために、 共に立ち上がり、組織化しよう

UNI組織化基金

UNI組織化基金は、UNIのあらゆる地域、あらゆる部会で組合の成長を支えている。この基金は世界中ですばらしいキャンペーンを支援し、UNI組織化センターと世界各地で100人を超えるオルグに資金を提供しており、オンラインと現場で組織化能力を構築する活動にとって不可欠な存在である。基金は加盟組織からの任意拠出によって維持されており、2023年の世界大会以降は個人からの拠出も可能になっている。組織化基金によって、本報告書に記載されていることの多くが可能になっている。

COVID-19パンデミックとそれに続く生活費危機は、すでに、驚異的なレベルに達していた不平等をさらに悪化させた。しかしこれらの現象はまた、闘争心と希望の入り混じった爆発的な熱量を生み出し、かつてない数の労働者が職場で発言し、職場の仲間とともに組織化することに拍車をかけた。UNIは部会、地域、組織化センターを通じて、世界中でこの組合化の波を支援している。

組合員数と組合力の拡大は、富がトップに集中することに対する解毒剤である。組合はジェンダー格差を是正するために必要であり、疎外され、人種的に差別された労働者の声を高めている。組合は世界中の民主主義と人権を前進・維持するために不可欠である。

UNIアマゾン労組アライアンス、 #MAKE AMAZON PAYを要求

2023年度も、我々はアマゾンを、労働者の権利を尊重する組織化された企業の使用者とすべく、グローバルな運動を取りまとめてきた。UNIのアマゾン労組アライアンスは、20か国以上で50を超える組合を結集し、戦略を共有してリソースを蓄積し、互いに連帯を示してきた。労組アライアンスのメンバーは、ブラジル、ドイツ、インド、イタリア、ポーランド、米国、英国、その他の国々で活発な組織化キャ

ンペーンを展開してきた。また、アマゾンのストリーミング・プラットフォーム向けにコンテンツを制作している米国の脚本家組合でストライキ中の組合員を支援するため、世界的な行動デーを主導した。

UNIの報告書『アマゾン・パノプティコンにおける労働』は、アマゾンの極端な監視下における身体的・精神的ダメージについて8か国で2,000人以上の従業員を対象に調査を行ったものであり、世界中のメディアを通じてグローバルに認識を高めた。

歴史に残る『Make Amazon Payサミット』では、20か国の労働組合、市民社会組織、規制当局、国会議員等が結集し、労働者、地域社会、環境に対するアマゾンの搾取と闘うための共通のアプローチを策定した。

UNIは大規模な『Make Amazon Pay Day』の推進力となり、ドイツ、イタリア、米国の労働者は、英国GMB労組の組合員とともに英国で大規模なピケを行い、ストライキに突入した。インドのデリーでは、300人を超える労働者がストライキを行った。30か国以上で組合と志をともにする組織が、アマゾン労働者の権利侵害と環境悪化に抗議した。この行動デーは前例のない連帯と広がりを示し、ソーシャルメディア上でアマゾン自身のブラック・フライデー・キャンペーンを圧倒するものとなった。

「私たちは毎日、アマゾンの倉庫で低賃金、高ストレス、そして権利が尊重されないといった同じ課題に直面しています。このグローバル行動デーへの参加は、ドイツにいる私たちだけの問題ではなく、公正な待遇を求めるために世界中の仲間とともに立ち上がることを意味します。アマゾンに私たちの声をはっきりと聞いてもらいたいです。今こそ、良い方向に向けて変革する時です」

レイナー・ライジング、
ドイツのアマゾン労働者で
ver.diの組合員

UNI各部会での組織化

UNIはUSAID、フォード財団、CARE基金の支援を受けて、集団的な代表制、女性リーダーのエンパワメント、公正な雇用の促進に向けた組織化を通じ、医療・介護部門を変革する取り組み『Together We Care』の基礎を築いた。ブラジル、コロンビア、ドミニカ共和国、ガーナ、フィリピンにおける100万人の労働者の生活に影響を与えうるこのプロジェクトは、労働組合の拡大、賃金の引き上げ、労働条件の改善、雇用正規化の実現に取り組む。

UNIは、加盟組織ALICEがチェコの介護事業者「アルツハイマー・ホーム」で実施した組織化キャンペーンを戦略的に支援した。このキャンペーンは、チェコの民間介護労働者にとって過去最強となる画期的な2023年の団体協約につながった。この協約は、全国32か所の介護施設で働く1,500人の従業員（圧倒的に女性が多い）に適用される。

トルコでは組合潰しと自由な報道に対する政府の弾圧に直面しながらも、加盟組織であるトルコジャーナリスト労組（TGS）の複数年にわたる組織化キャンペーンの結果、同国の主要な使用者3社と初の団体協約を締結した。4つ目の事業所では、仲裁によって労働者の賃上につながった。

UNIはテック及びゲーム開発に携わる労働者の国境を越えた組織化に尽力し、マイクロソフト、アクティビジョン・ブリザード・キング、スポティファイ、ティックトックなどで労働者の結集に貢献した。またアルファベット労組（AWU-CWA）と協力し、解雇されたグーグル社員に対する待遇改善を求める

世界的な署名運動を展開し、1,500以上の従業員署名を集めた。アイルランド、スイス、英国など、グーグルが事業を展開する主要な国で組合員数が増加した。他にもポーランドと韓国という主要2か国で労働組合が結成された。

ペルーでは、加盟組織SUTECAが2つの大手カジノ・チェーンで実施した組織化キャンペーンを支援した。断固とした現場での組織化と国際的な連帯により、解雇された組合員を復職させ、このキャンペーンは最終的に2024年初頭、2つのグローバル協定の締結につながった。

世界選手会は、2023年6月に「#Right2Organize グローバルスポーツにおける効果的なアスリート代表に関する調査報告」を発表した。この報告書には、17のスポーツの48か国・80の選手会のデータが掲載されており、世界中のスポーツ選手の団体交渉の課題に光を当てている。

団結権が尊重されている場合、選手会に代表される選手たちは、団体交渉のおかげで著しく良い条件を享受している。



テレパフォーマンスとのグローバル枠組み協定を通じた組織化

2023年にUNIは、テレパフォーマンスと2022年12月に締結したグローバル協定を実施することで5万5,000人を超える労働者を支援した。組織化基金を通じて、コロンビア、ドミニカ共和国、ジャマイカ、ポーランド、ルーマニアの加盟組織による協定の実施が後押しされた。これらの国すべてで、組合強化のためのシステムを整え、組織化に中立の立場をとる方法について国内の管理職を訓練し、従業員研修プログラムを通じて新規組合員を勧誘した。

その結果、テレパフォーマンスの組合は成長している。コロンビア、ドミニカ共和国、ポーランドでは、テレパフォーマンスの組合は約3倍の規模に拡大した。ジャマイカでは、数十人だった組合員が数か月で1,000人近くに急増した。ルーマニアの組合員数は40%のラインを超え、現在は法的に承認されている。UNIはエルサルバドルで組織化チームを結成し、数百人の労働者に働きかけることで、コールセンター労組の基盤を確立した。

「グローバル協定は、リモートワーカーに働きかける上でゲームチェンジャーとなっています。以前は労働者に接触するのが非常に困難でしたが、今は組合の存在、組合のメリット、組合に加入する方法を全員に知らせることができます」

ポーランドのテレパフォーマンス従業員
マルチン・ズビンスキウ



エルサルバドルのテレパフォーマンスの組合活動家



ドイツ、イタリア、イギリス、アメリカのアマゾン労働者が
コウイントンで開催されたMake Amazon Pay Dayに参加

グローバル協定を通じて 共に立ち上がろう： 世界中で権利を確保し、 組合を強化しよう

グローバル協定は、組合を強化し、団体交渉を拡大し、我々の運動の力を強化するために利用できる最も効率的なツールの1つである。多国籍企業の事業全体、そしてさらにはバリューチェーン全体にわたって労働者の諸権利が確保されるようになっている。UNIが締結した50本以上のグローバル協定は、実質的にほぼすべての国で数百万人の労働者を対象としている。

UNIはイケアの親会社であるインカ・グループとグローバル原則に関する画期的な合意を締結した。労働者が組合を結成する際に、会社側の中立的立場を約束するものである。この合意により、組合代表はイケア店舗で労働者と話をすることが認められ、合意の適用に関する紛争を解決する公正なプロセスが確立されている。UNIとイケアは、OECDのオランダ連絡窓口の協力を得て、この合意に至った。

UNIは、ソシエテ・ジェネラルおよびクレディ・アグリコルという2つの銀行との間で、グローバル協定を更新した。いずれの事案とも、デジタル化とリモートワークという状況に直面する中、労働組合の権利を強化し、企業の人権デューデリジェンス・プロセスにおけるUNIの役割をさらに強化するものである。

介護事業者オルペアと結んだグローバル協定は、ポーランドの加盟組織OPZZ KPが同国にあるオルペアの介護施設14か所すべてにおいて、勝利する道を開くのに役立った。UNI組織化センターCOZZも、OPZZ KPの長年にわたる組織化活動を支援した。

500,000

2023年、グローバル協定を新規締結・更新し、
50万人の労働者の権利を守る



マリア・テレサ・エスピノ・ペーニャとセキリタス労働組合
グローバル協定の支援により、ペルーはセキリタス労組と
2023年にこれまでで最高の契約を交渉することができた

サービス産業で共に立ち上がろう： UNIの各部会で労働者の力を高めよう

57



世界中の多国籍企業で、
労働者の力を強化する
57の労組アライアンスが結成され、
UNI加盟組織は
250の欧州労使協議会に参加

25+



世界中で労働者の連帯を活用すべく、
25を超えるグローバル行動デーを実施

UNIはサービス産業全体で組合を強化するために多方面からアプローチしている。UNIはすべての部会で、組織化やグローバル協定を通じて組合の成長を促すだけでなく、既存の組合員によって力を増大させようとする組合の取り組みも支援している。団体交渉を支援し、調査を実施し、国境を越えた連帯を構築している。

UNI世界郵便・ロジスティクス部会は、公的資金を削減し、サービスの質を低下させ、郵便部門において苦勞して獲得した労働基準を後退させようとする企てに対し、断固として闘った。例えば、我々はトリニダード・トバゴの加盟組織のために国際連帯を組織し、10年間の賃金低迷を経て賃上げを要求した。

欧州では、労働基準を弱体化させるフランチャイズ化という厄介な傾向に対して、商業部会の加盟組織とともに反撃している。例えば、UNIはアホールド・デレイズの年次株主総会で、同社がベルギーの全183店舗をフランチャイズ化し、労働条件を悪化させ、9,000人の労働者からの労働組合員の資格剥奪につながるような計画に反対するため、大規模な抗議行動をとりまとめた。

UNIは、変化するエンタテインメント産業の収益からより公正な分配を勝ち取るため、数か月に及ぶストライキを実施した米国の脚本家や俳優を支援した。彼らはまた、生成AIを中核に据えた世界初のストライキを主導し、勝利した。『Variety』や『Deadline』といった主要メディアは、35か国で実施された我々の行動デーを含め、UNIが脚本家のために行った行動を取り上げた。



トリニダード・トバゴの郵便局員



「世界中のあらゆる場所から、これほど多くの人々が私たちの闘いを支持してくれたことを目の当たりにし、本当に身が引き締まる思いです。私たちは、行動を起こし、このような世界的連帯の力強いメッセージを送る手助けをしてくれた一人一人に心から感謝しています」

東部全米脚本家組合委員長
マイケル・ウィンシップ



韓国ウェブトゥーン創作者組合が米国作家のストライキに参加

デジタル時代の ディーセントワークの ために、 共に立ち上がろう

UNIは、デジタル時代のディーセントワークを求めるグローバルな主張をリードしている。2023年に我々は、労働組合がアルゴリズム管理（極端で絶え間ない監視が労働者の心身の健康に害を与えるシステム）にどのように対処するかについて、この種のものとしては初となる調査を発表した。UNIの報告書「アルゴリズム管理：集団行動の機会」は、この人権侵害的なテクノロジーと闘い、より安全な労働を提唱するために組合が用いてきた法や規制、また団体交渉に関する戦略について、概説している。

アルゴリズム管理に関する我々の取組みは、職場におけるテクノロジーに関連する効果的な交渉戦略を共有するというUNIの広範な取組みを示している。例えば欧州では、使用者のソフトウェア・システムが従業員の労働習慣に関する広範な個人データをどのように収集しているかについて、専門家と協力して調査を実施した。我々はEUデータ保護法に基づき、アマゾンによる従業員の監視慣行に異議を唱えている。

クリスティ・ホフマンUNI書記長は、仕事におけるテクノロジーに関する交渉権を求める世界の労働運動において、最も著名な提唱者の1人となっている。米国の脚本家や俳優による生成AIに関する交渉の影響に関する彼女の洞察は、主要メディアで取り上げられている。また、「AI in the Public Interest」会議の基調講演など、さまざまなフォーラムでデジタルに関わる労働者の権利に関する講演を行っている。

今後に向けて、2023年にUNIは、デジタル化と新たなテクノロジーに焦点を当てた国際安全衛生プロジェクトのためのリソースを確保した。

安全衛生のため、共に立ち上がろう

パンデミックが始まった当初、我々は労働安全衛生への注力を強めた。以来、調査・活動を拡大し、労働者の福利に及ぼすテクノロジーの影響を取り入れ、ジェンダーの視点から職場の安全に取り組む戦略を策定している。

UNIはまた、夜勤を含む予測不可能で、不安定な勤務シフトによって引き起こされる健康面および社会面での問題を扱う、**32か国の清掃労働者**を対象とする画期的な調査を発表した。孤立、人間関係維持の困難、社会生活の緊張、睡眠不足、疲労、肉体的・精神的健康への悪影響などがそうした問題に含まれる。UNIと加盟組織は、この調査結果を利用し、夜勤について使用者と政府に再検討を働きかけた。

「夜勤は不安定な生活」- ペルーの女性清掃員

UNIが2023年に発表した**第三者による暴力に関する**包括的な報告書によると、パンデミック後でさえ、労働者は職場において容認できないレベルの虐待や暴力に苦しんでいる。世界各地の事例研究では、労働者が団体交渉やグローバル協定を通じた保護だけでなく、政府や政策の介入を必要としていることが示されている。

UNI機会均等局は国際女性デーに、労働組合の活動家が**ジェンダーの視点で安全衛生にアプローチ**できるようにするためのガイドを発表した。同ガイドブックは、特に女性の心理社会的リスクと性や生殖に関する健康への影響に焦点を当てている。また、労働組合が会議やワークショップ、職場などでこれらの問題を検討するための実践的な演習も掲載されている。

企業の説明責任を問うため、共に立ち上がろう

US\$15.3



運用資産15.3兆米ドルの
グローバル投資家ネットワークを構築

パキスタン・アコードの運用を開始



UNIは、運用資産67兆米ドルの300以上の投資家に関与し、これらの資産の約半分を運用する60以上の投資家と直接会合を持った。その中には、**ノルウェー銀行投資マネジメント部門**との重要な会合も含まれる。

労働者資本委員会（CWC）とともに、我々は結社の自由と団体交渉に関する投資家行動を促進するため、**労働者の権利投資家ネットワーク（LRIN）**を立ち上げた。2023年末までに、15兆3,000億米ドルの運用資産を有する44の投資家が、このネットワークの参加者またはオブザーバーとして関わっている。

「繊維・衣料品産業の安全衛生に関する国際協定（国際アコード）」は、2023年に10年目を迎えた。UNIはインダストリアルとともに、2023年に始まった**バングラデシュとパキスタンの安全衛生プログラム**を継続する法的拘束力のある3か年の新たな合意をグローバル・ファッション・ブランド企業との間で締結した。この新たな合意は、他の国々でもプログラムを確立する道を拓くものである。アコードの取組みによってUNIとインダストリアルは、持続可能性における先見的リーダーシップが評価され、**2023年にVogue誌が選ぶ「ビジネスのイノベーター100選」**に選出された。

平等と民主主義のために、共に立ち上がろう

平等と民主主義はUNIのミッションの中核であり、UNIのすべての活動を貫いている。

2023年に、UNI世界印刷・パッケージング部会は、極右勢力から民主主義と人権を守ることに焦点を当てた会議を主催した。我々は、残忍な軍事政権に抵抗するミャンマーの労働運動を断固として支援した。UNIは、ガザでの停戦を呼びかけた最初のグローバル・ユニオンの1つである。ポーランドの「Unions Help Refugees（難民を助ける組合）」プロジェクトは、搾取や悪質な使用者に立ち向かうウクライナ人労働者を支援している。

UNI機会均等局は、世界各地で2,000人を超える女性を対象にワークショップを開き、メンタリング・プログラムを支えた。また、差別に関する語りを平等のための実現可能な要求に変えるプロジェクトの一環として、アフロ・コロンビア人とLBGTI+労働者に関する調査を発表した。



フィラデルフィアで共に立ち上がろう： 労働運動のグローバルな契機となった UNI世界大会

世界109か国から1,200人を超える労働組合のリーダーが米国・フィラデルフィアに集い、より強固なグローバル労働運動を構築し、今後4年間のUNIの方針を決定した。「共に立ち上がろう」というスローガンの下、第6回UNI世界大会は、経済を変革するという願いに後押しされたグローバルで闘争的な労働運動の高まりを反映したものとなった。

2023年8月の大会イベント期間中、我々は共に歌い、踊り、結集した。我々は永続的な連帯を築き、UNIの運動が共有する目標を前進させるためのプラットフォームに合意した。その目標とは、組織化と団体交渉の拡大を通じて組合を成長させること、実効的で法的拘束力のある手段を通じて多国籍企業に説明責任を果たさせること、デジタル変革の中核に労働者の権利を確保すること、あらゆる形態の人種差別と差別に反対すること、世界中の民主主義を擁護すること、気候危機に直面するサービス労働者の公正な移行を支援すること、である。

我々はクリスティ・ホフマン氏をUNI書記長として再選し、オーストラリアのジェラルド・ドワイヤーSDA書記長兼財政局長が、ルーベン・コルティナ氏の後任として新たにUNI会長に就任した。

UNI世界大会は単なる会議以上に、1つの重要な契機となった。数年間のパンデミックによる隔たりの時期を経ての再活性化、団結の瞬間であり、コミットメントを新たにする瞬間であった。我々は勝利に向けて闘う覚悟を決めて旅立ったのであり、クリスティ・ホフマンUNI書記長が発言したように、「共に立ち上がろう」を次の4年間の合言葉にする準備ができたのである。

2023年8月の世界大会に併せて、UNI世界女性大会とUNI世界金融部会大会も開催された。

立ち上がる女性たち

第6回UNI世界女性大会は明確なメッセージを発信した。労働者の権利、女性の権利、市民の権利を求めて闘うために、女性たちは共に立ち上がっている。会議を通して我々は、平等に対するデジタル化の影響、ジェンダーに基づく暴力、ジェンダー視点に立った安全衛生などの問題について、力強い大合唱を聞いた。そしてUNI機会均等局による10年間のメンタリング・プログラムの成果と進展を祝い、キャロル・シェファ―UNI世界女性委員会新議長を選出した。

「私たちはすべての国で、先達の女性たちが連帯の土台を築いてくれました。そして今、その遺産を引き継ぐのは私たちです。団結した女性たちは、誰も止めることのできない力になります」

UNI世界女性委員会議長
(アイルランド、CWU)
キャロル・シェファ―





私たちは、組織化し、企業責任を迫り、気候変動に取り組みながら働く人々を支援し、ディーセントワークを創出する必要があります。ディーセントワークは、私たちの物質的ニーズと、愛する人のケアをすることができるといった社会的ニーズを十分に満たすことができるはずです。

UNI会長
ジェラルド・ドワイヤー（SDA書記長）



この世界では、あまりにも多くの人々が取り残されており、私たちはそうした状況を変えようとしています。私たちは、グロテスクな不平等ではなく、共有できる繁栄のために、ファシズムや戦争ではなく、平和と民主主義のために、労働における尊厳のために、安全で環境に優しい雇用と万人のための組合のために、要求を繰り返し続けていかなければならないのです。

UNI書記長 クリスティ・ホフマン



私たちは組織化にあたり、経営陣の抵抗や労働者に対する脅迫など、様々な困難に直面しました。しかし、そうした困難の一つ一つが、我々を強くし、今日のウガンダとアフリカにおける強力な組合を作り上げたのです。

ジェーン・カツベ HTS労組役員
（カルフル・ウガンダの組織化で
ブレイキングスルー賞を受賞）



日本経済の成長が労働者の賃金の上昇につながることを願っています。物価上昇から生活と労働の価値を守ることが急務です

自動車総連中央執行委員 小川敬太



私たちの国際的な取り組みは、世界は億万長者のためにあるのではなく、われわれ全員のものであるということを、こうした無法者の企業に伝えることです。

バーニー・サンダース米上院議員



労働者に対して、自分の立場をわきまえろと言う人々へ、こう言い返しましょう。「労働者の場所は、交渉のテーブルにあるのだ」と。

米国労働副長官 ジュリー・スー



民主主義と、正義のための闘いをグローバル化することは、労働組合運動とUNIにとって画期的なことです。

コロンビア労働副大臣
エドウィン・パルマ・エゲア



成功するには、組織化とストライキの能力が必要です。なぜなら最終的にはストが有効だからです。

ver.di委員長 フランク・ヴェルネケ



UNIは、我々が成功を実現する上で極めて重要な役割を果たし、貢献したすべての関係各位に心から感謝の意を表する。

組織化キャンペーンを実施し、組織化基金に拠出してくださった献身的な加盟組織、そしてケア・ファンド、DGB、FES、フォード財団、モンドリアルFNV、オープン・ソサエティ財団、RLS、SASK、Union to Union、USAIDなど、貴重な連帯支援組織であるパートナーやその他の、寛大なドナーの皆様からの集団的なコミットメントが、我々の成功を可能にした。



8-10 Avenue Reverdil
1260 Nyon, Switzerland
+41 22 365 2100
contact@uniglobalunion.org
www.uniglobalunion.org